



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年5月7日

上場会社名 シュッピン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3179 URL <https://www.syuppin.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 小野 尚彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 辻本 拓 (TEL) 03-3342-2944
 定時株主総会開催予定日 2021年6月24日 配当支払開始予定日 2021年6月25日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の業績 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|--------|------|-------|------|-------|------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期 | 33,960 | △2.0 | 1,613 | △8.1 | 1,623 | △6.4 | 1,067 | △10.6 |
| 2020年3月期 | 34,658 | 0.1 | 1,754 | 21.5 | 1,735 | 21.1 | 1,193 | 21.5 |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2021年3月期 | 45.19 | 44.96 | 17.7 | 13.2 | 4.8 |
| 2020年3月期 | 50.55 | 50.12 | 22.5 | 15.9 | 5.1 |

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 -百万円 2020年3月期 -百万円

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2021年3月期 | 12,613 | 6,404 | 50.7 | 270.82 |
| 2020年3月期 | 12,008 | 5,703 | 47.5 | 241.31 |

(参考) 自己資本 2021年3月期 6,399百万円 2020年3月期 5,698百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2021年3月期 | △388 | △439 | △873 | 1,827 |
| 2020年3月期 | 1,094 | △136 | 1,166 | 3,528 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 | 純資産 配当率 |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|------|------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | | | |
| 2020年3月期 | — | 0.00 | — | 16.00 | 16.00 | 377 | 31.6 | 7.1 |
| 2021年3月期 | — | 0.00 | — | 16.00 | 16.00 | 378 | 35.4 | 6.2 |
| 2022年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 18.00 | 18.00 | | 34.3 | |

3. 2022年3月期の業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純 利益 |
|-----------|--------|------|-------|------|-------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 18,094 | 25.7 | 838 | 57.8 | 826 | 50.5 | 561 | 55.1 | 23.78 |
| 通期 | 38,230 | 12.6 | 1,849 | 14.7 | 1,825 | 12.4 | 1,241 | 16.3 | 52.54 |

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 2021年3月期 | 23,974,180 株 | 2020年3月期 | 23,959,657 株 |
| 2021年3月期 | 342,276 株 | 2020年3月期 | 342,276 株 |
| 2021年3月期 | 23,627,766 株 | 2020年3月期 | 23,617,451 株 |

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|-----------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 4 |
| (3) 当期キャッシュ・フローの概況 | 4 |
| (4) 今後の見通し | 5 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 5 |
| 3. 財務諸表及び主な注記 | 6 |
| (1) 貸借対照表 | 6 |
| (2) 損益計算書 | 8 |
| (3) 株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (5) 財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (持分法損益等) | 11 |
| (セグメント情報等) | 11 |
| (1株当たり情報) | 15 |
| (重要な後発事象) | 15 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により経済活動が制限され、企業収益の悪化や個人消費の低迷など極めて厳しい状況となりました。ウイルス感染拡大防止の為に政府からは緊急事態宣言が発出、その後の段階的な解除と各種政策が実施される中で経済活動は再開されましたが、本年1月には11都府県に緊急事態宣言が再発出、現在は国内外でのウイルス感染症に対するワクチンの接種が始められたものの未だ収束時期の見通しが立たない状況にあります。

当社が置かれていますEコマース市場は、経済産業省の電子商取引に関する市場調査では、2019年の国内小売販売に占める物販系のEC化率は6.76%と推計されています。外出自粛によって消費行動が制限されたことで、経済活動や身近な生活スタイルの変化が起きていることから、各分野でのオンラインを利用したBtoC取引が増加しており、今後もEC化率は一層上昇することが見込まれます。

このような経営環境のもと、当社はお客様と従業員の安心・安全と健康状態を最優先に考え、店舗では臨時休業及び営業時間短縮、ウイルス感染リスク低減の為に環境整備、従業員に対しては特別休暇付与、テレワーク導入等の様々な対策を講じました。そして、これまで取り組んできたEC主軸のビジネスモデルを当社の強みとして、インターネット経由ですべての情報とサービスをお客様に提供し取引が完結できる仕組みを更に推し進めてまいりました。

当事業年度におきましては、ECサイトではこれまでに構築してきた購入前・購入時・購入後までの流れの中で様々な情報を提供する当社プラットフォームにおいて、独自機能及びサービスを活用したOne To Oneマーケティングによる販売施策を実行しました。また、新たなサービスとしてオンライン買取の本人確認がスマートフォンのカメラ機能による撮影だけで手続きが完結できる機能等を導入したことで、利用者のより簡単・便利な取引が可能となりました。カメラ事業においては分散していた店舗を本館に集約して、購入から買取・買い替えまでを1棟で完結できる「MapCamera Tower」としてECサイトを通じた情報発信基地としました。時計及び筆記具事業では店舗移転・リニューアルを実施し、商材毎の店舗とECオフィスを1フロアー（拠点）とすることで、ECサイトでよりリアルな商品情報と顧客のニーズを反映する「1カテゴリー＝1オフィス」化を進めました。その他、買取強化によって潤沢に在庫を保有することでより魅力ある品揃えが売上高に繋がるように注力し、更に主力であるカメラ事業では、新たな仕組みとして中古カメラの買取、販売価格をAIを活用して需給に合わせたタイムリーに自動設定する「AIMD」を2021年3月に導入しました。一方で、外出自粛や景況感の落ち込みによる消費マインドの一時的低下、一部メーカーでの製造ライン停止による商品供給不足や新製品発売延期と入国制限にともなうインバウンド需要の落ち込み等により、当事業年度の売上高は33,960,608千円（前年同期比2.0%減）となりましたが、6月以降はEC強化を更に推し進めたことでサイトアクセス数と新規会員数は順調に増加し、12月には登録会員数は50万人を突破、EC売上高については25,535,478千円（同18.5%増）となりました。

利益面では、売上総利益率については前事業年度から引き続き改善に取り組んできたことで高い水準を維持しておりますが、店舗移転・リニューアルに伴う設備投資と地代家賃、他社ポータルサイト取引増加に伴う利用手数料等の増加で、販売費及び一般管理費が4,683,750千円（同4.4%増）となりました。これにより、営業利益は1,613,140千円（同8.1%減）、経常利益は1,623,835千円（同6.4%減）、当期純利益は特別損失として店舗移転にともなう固定資産除却損を計上したことにより1,067,830千円（同10.6%減）となりました。ただし、売上高とともに利益面も回復をしており、この第3四半期から第4四半期会計期間における前年同期間対比では増収増益であり、各利益段階では過去最高益となっております。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

[カメラ事業]

自社ECサイトでの独自機能やサービスを活用したOne To Oneマーケティングによる販促施策の他に、顧客同士のカメラに関する質問・回答のコミュニケーションによって質の高い情報のやり取りが生まれる「EVERYBODYコ

ンシェルジュ」の追加や SHIPPING ポイントを集められる様々なイベント「ポイントプログラム」への導線改善を実施しました。そして、既存の各情報コンテンツ内容の充実とそれらを統括しスマートフォンで快適に閲覧できるWEBマガジン「StockShot」を発信、当社フォトシェアリングサイト「EVERYBODY×PHOTOGRAPHER.com」と連動した様々なフォトコンテストを実施することなどで集客を図りました。店舗では顧客の利便性の追求とECサイトを通じた情報発信基地として「MapCamera Tower」を開設し、店舗運営費用の圧縮とECへより注力できる体制作りの為にリニューアルしました。また、利益面ではエキスパートである専門スタッフを中心として売上総利益率の改善に引き続き取り組んできたことで高い水準を維持しておりますが、取引件数、取扱商品数が日々拡大している状況であり今後の更なる拡大に対応する為に「AIMD」を開発導入しました。需給に即した買取・販売価格の設定をAIによる自動化を行うことができるようになり、今後はタイムリーに適正な買取・販売価格が設定できることで、顧客がより安心・安全に取引ができるとともに、取引量の拡大と売上総利益率の更なる改善を図ることが可能となります。これらにより、EC売上高は前事業年度を大きく上回り、店舗での来店者減少による売上高の落ち込みを補ったことで、全体での売上高は24,022,870千円（前年同期比3.2%増）、セグメント利益は2,324,574千円（同0.8%増）となりました。

[時計事業]

市場の情勢を踏まえたうえでの戦略として、人気の高いブランド「ROLEX」の買取を特に強化することで保有する在庫を大きく増やし、圧倒的な品揃えによる集客力の向上を図りました。店舗では腕時計専門店「GMT」とレディース腕時計専門店「BRILLER」を移転リニューアルし、併せてECオフィスを1フロアに集約させました。これにより、来店者との接客によって得られた価値ある商品情報をWEB上にリアルタイムでアップすることによってECと店舗の相乗効果を高めました。越境ECとして出店している「ebay」と「Chrono24」については開設当初から丁寧な接客と認知度の向上に引き続き注力してきたことで着実に売上高が伸長していることも含め、EC売上高は前事業年度を上回りました。店舗においてはウィルス感染リスク低減の為に環境整備の一環として、少人数完全予約制で来店者を限定した営業を実施したこと、回復傾向ではあるものの海外からの渡航者の入国制限によりインバウンド需要も低下したことを含めて店舗売上高が大幅に減少し、売上高は8,681,376千円（前年同期比16.0%減）、セグメント利益は357,111千円（同35.8%減）となりましたが、戦略的な品揃えの強化が奏功したことで第3四半期からはその効果が現れ、利益面におきましては第4四半期会計期間で増益に転じております。

[筆記具事業]

時計事業と同様に、筆記具専門店「KINGDOM NOTE」を移転リニューアルし、1フロアに店舗とECオフィスを集約させることで、店舗とECの相乗効果を高めました。ECサイトでは、オンライン買取における当社独自のサービスによって買取の利便性向上を強く押し出すことで、新しい顧客の獲得と中古品の商材確保に注力しましたが、ウィルス感染リスク低減の為に従業員の出勤を制限したことによる商品化の遅延もあったことで中古品売上は低迷、他事業同様に店舗の臨時休業と営業時間の短縮による来店者の減少及びインバウンド売上高の低下が影響したことで、売上高は408,074千円（前年同期比18.9%減）となりました。また、店舗移転・増床による地代家賃の増加と設備投資のインシヤルコストの負荷もあり、セグメント損失は30,662千円（前年同期は22,729千円の利益）となりました。

[自転車事業]

スマホアプリを利用したサイクリストへ向けた日常的な情報発信や自転車専門サイトでの広告宣伝効果による認知度の向上を図り集客力を高めました。他の事業と同様に店舗への来店者は大きく減少しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大によるライフスタイルの変化で自転車需要が高まり、また需要の高いインドアトレーニング関連商品やサイクルコンピューター、人気メーカーの各種パーツの商品仕入に注力し品揃えを充実させたことで、自社サイト及び他社サイトにおいて売上高は大きく拡大しました。その他として中古品の品揃え拡充による売上高の確保と商品化クオリティーに見合った適正な販売価格を維持したことで、売上高は848,286千円（前年同期比53.8%増）、セグメント利益は40,568千円（同209.5%増）となりました。

[販売チャネル別売上高の状況]

| 販売チャネル | 売上高 | 構成比 | 前年同期比 |
|--------|--------------|--------|--------|
| E C | 25,535,478千円 | 75.2% | 118.5% |
| 店舗 | 8,425,129千円 | 24.8% | 64.2% |
| 合計 | 33,960,608千円 | 100.0% | 98.0% |

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の資産につきましては、総資産が12,613,078千円となり、前事業年度末と比較して604,198千円の増加となりました。

流動資産は11,178,262千円となり、前事業年度末と比較して367,504千円の増加となりました。これは主として商品が1,533,589千円増加、売掛金が413,743千円増加、現金及び預金が1,701,498千円減少したことによるものであります。

固定資産は1,434,816千円となり、前事業年度末と比較して236,694千円の増加となりました。これは主として有形固定資産が220,809千円増加したことによるものであります。

負債につきましては、6,208,411千円となり、前事業年度末と比較して96,468千円の減少となりました。

流動負債は3,989,987千円となり、前事業年度末と比較して356,146千円の増加となりました。これは主として、買掛金が404,486千円増加したことによるものであります。

固定負債は2,218,424千円となり、前事業年度末と比較して452,614千円の減少となりました。これは長期借入金が488,690千円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、6,404,666千円となり前事業年度末と比較して700,667千円の増加となりました。これは利益剰余金が689,952千円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は、1,827,009千円となり、前事業年度末と比較して1,701,498千円の減少となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって使用したキャッシュ・フローは、388,616千円(前年同期は1,094,731千円の獲得)となりました。これは、主として税引前当期純利益1,554,913千円、たな卸資産の増加額1,533,589千円、法人税等の支払額600,677千円、売上債権の増加額413,743千円、仕入債務の増加額404,486千円、減価償却費161,763千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、439,831千円(前年同期は136,591千円の使用)となりました。これは、主として有形固定資産の取得による支出287,809千円、無形固定資産の取得による支出165,572千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用されたキャッシュ・フローは、873,051千円(前年同期は1,166,923千円の獲得)となりました。これは、主として長期借入金の返済による支出665,173千円、配当金の支払額377,878千円、長期借入れによる収入150,000千円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

| | 2019年3月期 | 2020年3月期 | 2021年3月期 |
|-------------------|----------|----------|----------|
| 自己資本比率(%) | 49.7 | 47.5 | 50.7 |
| 時価ベースの自己資本比率(%) | 196.6 | 124.9 | 191.7 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率 | 4.1 | 4.0 | — |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ | 60.8 | 108.3 | — |

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産
キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー
インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

- (注) 1. いずれも財務数値により計算しております。
2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。
4. 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大による経済活動制限や企業収益悪化等により、個人消費の動向は今後も不透明な状態が想定されます。このような経営環境のもと、当社は引き続き、ECでお客様が安心安全にお買い物を楽しんでいただけるようEC強化を継続して行い、フルサイズミラーレスの需要拡大継続、時計事業の更なる成長、越境ECでのグローバル展開を活性化させる等、主軸のカメラ、時計事業を中心に売上高、各利益の成長を図って参ります。次期の業績見通しにつきましては、売上高38,230百万円（前年同期比12.6%増）、営業利益1,849百万円（同14.7%増）、経常利益1,825百万円（同12.4%増）、当期純利益1,241百万円（同16.3%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、企業間及び経年での比較可能性を確保するため、当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）に基づいて作成しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2020年3月31日) | 当事業年度 (2021年3月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,528,508 | 1,827,009 |
| 売掛金 | 1,690,417 | 2,104,161 |
| 商品 | 5,292,917 | 6,826,506 |
| 前払費用 | 89,889 | 100,072 |
| その他 | 209,024 | 320,512 |
| 流動資産合計 | 10,810,757 | 11,178,262 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 179,634 | 282,520 |
| 減価償却累計額 | △69,515 | △54,102 |
| 建物(純額) | 110,118 | 228,417 |
| 工具、器具及び備品 | 194,541 | 270,228 |
| 減価償却累計額 | △167,381 | △142,100 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 27,159 | 128,128 |
| 建設仮勘定 | 1,802 | 3,344 |
| 有形固定資産合計 | 139,080 | 359,890 |
| 無形固定資産 | | |
| 商標権 | 5,048 | 5,095 |
| ソフトウェア | 275,593 | 341,985 |
| ソフトウェア仮勘定 | 49,748 | 11,857 |
| 無形固定資産合計 | 330,390 | 358,938 |
| 投資その他の資産 | | |
| 差入敷金保証金 | 488,398 | 474,852 |
| 長期前払費用 | 19,918 | 8,306 |
| 繰延税金資産 | 199,715 | 212,210 |
| その他 | 20,618 | 20,618 |
| 投資その他の資産合計 | 728,651 | 715,987 |
| 固定資産合計 | 1,198,122 | 1,434,816 |
| 資産合計 | 12,008,879 | 12,613,078 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2020年3月31日) | 当事業年度 (2021年3月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 749,873 | 1,154,360 |
| 短期借入金 | 1,100,000 | 1,120,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 654,459 | 627,976 |
| 未払金 | 312,908 | 379,297 |
| 未払費用 | 67,489 | 48,872 |
| 未払法人税等 | 370,530 | 264,522 |
| 預り金 | 10,800 | 25,087 |
| ポイント引当金 | 350,743 | 350,304 |
| その他 | 17,035 | 19,566 |
| 流動負債合計 | 3,633,841 | 3,989,987 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,671,039 | 2,182,349 |
| 資産除去債務 | — | 36,075 |
| 固定負債合計 | 2,671,039 | 2,218,424 |
| 負債合計 | 6,304,880 | 6,208,411 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 518,665 | 524,183 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 418,665 | 424,183 |
| 資本剰余金合計 | 418,665 | 424,183 |
| 利益剰余金 | | |
| その他利益剰余金 | | |
| 繰越利益剰余金 | 5,013,864 | 5,703,816 |
| 利益剰余金合計 | 5,013,864 | 5,703,816 |
| 自己株式 | △252,197 | △252,197 |
| 株主資本合計 | 5,698,996 | 6,399,986 |
| 新株予約権 | 5,002 | 4,680 |
| 純資産合計 | 5,703,999 | 6,404,666 |
| 負債純資産合計 | 12,008,879 | 12,613,078 |

(2) 損益計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 34,658,950 | 33,960,608 |
| 売上原価 | | |
| 商品期首たな卸高 | 4,781,031 | 5,292,917 |
| 当期商品仕入高 | 28,975,845 | 29,218,378 |
| 合計 | 33,756,876 | 34,511,295 |
| 他勘定振替高 | 38,313 | 20,815 |
| 商品期末たな卸高 | 5,339,387 | 6,873,330 |
| 商品評価損 | 37,799 | 46,567 |
| 商品売上原価 | 28,416,974 | 27,663,716 |
| 売上総利益 | 6,241,975 | 6,296,891 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 役員報酬 | 120,194 | 129,216 |
| 給与手当 | 1,038,957 | 1,091,134 |
| 法定福利費 | 175,588 | 184,278 |
| 広告宣伝費 | 54,419 | 56,979 |
| 販売促進費 | 732,853 | 803,403 |
| 業務委託費 | 264,825 | 291,118 |
| 支払手数料 | 824,996 | 879,876 |
| 減価償却費 | 213,153 | 161,763 |
| 地代家賃 | 269,167 | 344,814 |
| ポイント引当金繰入額 | 280,929 | 199,232 |
| その他 | 512,106 | 541,932 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 4,487,191 | 4,683,750 |
| 営業利益 | 1,754,784 | 1,613,140 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 100 | 24 |
| 受取手数料 | 218 | 154 |
| 還付加算金 | 107 | 544 |
| 受取保険金 | 415 | 2,061 |
| 助成金収入 | — | 28,957 |
| その他 | 1,271 | 1,042 |
| 営業外収益合計 | 2,114 | 32,785 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 9,544 | 15,218 |
| 為替差損 | 3,119 | 202 |
| その他 | 8,577 | 6,669 |
| 営業外費用合計 | 21,241 | 22,090 |
| 経常利益 | 1,735,657 | 1,623,835 |
| 特別利益 | | |
| 新株予約権戻入益 | 545 | 322 |
| 特別利益合計 | 545 | 322 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | — | 69,244 |
| 特別損失合計 | — | 69,244 |
| 税引前当期純利益 | 1,736,202 | 1,554,913 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 593,730 | 499,576 |
| 法人税等調整額 | △51,490 | △12,494 |
| 法人税等合計 | 542,240 | 487,082 |
| 当期純利益 | 1,193,962 | 1,067,830 |

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | | | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|-------------------------|---------|---------|---------|---------------------|-----------|----------|-----------|-------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益剰余金 | | 自己株式 | 株主資本合計 | | |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金合計 | その他利益剰余金 繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計 | | | | |
| 当期首残高 | 513,683 | 413,683 | 413,683 | 4,151,721 | 4,151,721 | △175,271 | 4,903,816 | 5,548 | 4,909,364 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | |
| 新株の発行 | 4,981 | 4,981 | 4,981 | | | | 9,963 | | 9,963 |
| 剰余金の配当 | | | | △331,819 | △331,819 | | △331,819 | | △331,819 |
| 当期純利益 | | | | 1,193,962 | 1,193,962 | | 1,193,962 | | 1,193,962 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △76,925 | △76,925 | | △76,925 |
| 株主資本以外の項目 の当期変動額(純額) | | | | | | | | △545 | △545 |
| 当期変動額合計 | 4,981 | 4,981 | 4,981 | 862,142 | 862,142 | △76,925 | 795,180 | △545 | 794,635 |
| 当期末残高 | 518,665 | 418,665 | 418,665 | 5,013,864 | 5,013,864 | △252,197 | 5,698,996 | 5,002 | 5,703,999 |

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | | | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|-------------------------|---------|---------|---------|---------------------|-----------|----------|-----------|-------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益剰余金 | | 自己株式 | 株主資本合計 | | |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金合計 | その他利益剰余金 繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計 | | | | |
| 当期首残高 | 518,665 | 418,665 | 418,665 | 5,013,864 | 5,013,864 | △252,197 | 5,698,996 | 5,002 | 5,703,999 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | |
| 新株の発行 | 5,518 | 5,518 | 5,518 | | | | 11,037 | | 11,037 |
| 剰余金の配当 | | | | △377,878 | △377,878 | | △377,878 | | △377,878 |
| 当期純利益 | | | | 1,067,830 | 1,067,830 | | 1,067,830 | | 1,067,830 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | | |
| 株主資本以外の項目 の当期変動額(純額) | | | | | | | | △322 | △322 |
| 当期変動額合計 | 5,518 | 5,518 | 5,518 | 689,952 | 689,952 | — | 700,988 | △322 | 700,667 |
| 当期末残高 | 524,183 | 424,183 | 424,183 | 5,703,816 | 5,703,816 | △252,197 | 6,399,986 | 4,680 | 6,404,666 |

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前当期純利益 | 1,736,202 | 1,554,913 |
| 減価償却費 | 213,153 | 161,763 |
| 受取利息 | △117 | △27 |
| 支払利息 | 9,544 | 15,218 |
| 固定資産除却損 | — | 69,244 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 226,326 | △413,743 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △511,885 | △1,533,589 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △456,430 | 404,486 |
| ポイント引当金の増減額 (△は減少) | 124,842 | △439 |
| その他 | 268,439 | △30,592 |
| 小計 | 1,610,076 | 227,234 |
| 利息及び配当金の受取額 | 100 | 24 |
| 利息の支払額 | △10,110 | △15,197 |
| 法人税等の支払額 | △505,335 | △600,677 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,094,731 | △388,616 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △6,583 | △287,809 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △142,961 | △165,572 |
| 差入敷金保証金の差入による支出 | △100,016 | — |
| その他の投資活動 | 112,970 | 13,550 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △136,591 | △439,831 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △400,000 | 20,000 |
| 長期借入れによる収入 | 2,400,000 | 150,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △424,331 | △665,173 |
| 自己株式の取得による支出 | △76,925 | — |
| 配当金の支払額 | △331,819 | △377,878 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,166,923 | △873,051 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 2,125,063 | △1,701,498 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,403,445 | 3,528,508 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 3,528,508 | 1,827,009 |

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品別の営業部を置き、各営業部は取り扱う商品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社の報告セグメントは、当社が取り扱う商品の種類・性質・市場等に基づくセグメントから構成されており、「カメラ事業」、「時計事業」、「筆記具事業」及び「自転車事業」の4区分を報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

| 事業区分 | 主要商品 |
|-------|--------------------------------------|
| カメラ事業 | デジタルカメラ、フィルムカメラ、交換レンズ、周辺機器等の中古及び新品商品 |
| 時計事業 | 腕時計、バック等の中古及び新品商品 |
| 筆記具事業 | 中古万年筆、新品万年筆・文具・革小物等 |
| 自転車事業 | 自転車車体、フレーム、パーツ、小物類等の中古及び新品商品 |

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

また、共用資産については、各報告セグメントに配分しておりませんが、関連する費用については、合理的な基準に基づき、各報告セグメントへ配分しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 | 財務諸表 計上額 (注) 2 |
|------------------------|------------|------------|---------|---------|------------|--------------|----------------------|
| | カメラ事業 | 時計事業 | 筆記具事業 | 自転車事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 23,274,236 | 10,330,235 | 502,865 | 551,613 | 34,658,950 | — | 34,658,950 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 23,274,236 | 10,330,235 | 502,865 | 551,613 | 34,658,950 | — | 34,658,950 |
| セグメント利益 | 2,305,801 | 555,898 | 22,729 | 13,109 | 2,897,538 | △1,142,753 | 1,754,784 |
| セグメント資産 | 4,134,950 | 3,210,859 | 173,983 | 202,663 | 7,722,457 | 4,286,421 | 12,008,879 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 | 60,932 | 15,554 | 5,677 | 1,822 | 83,986 | 129,167 | 213,153 |
| 有形固定資産及び無 形固定資産の増加額 | 15,162 | 40,137 | 1,378 | 991 | 57,669 | 43,679 | 101,348 |

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

- (1) セグメント利益の調整額△1,142,753千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理統括部門に係る費用であります。
- (2) セグメント資産の調整額4,286,421千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
- (3) 減価償却費の調整額129,167千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、建設仮勘定、ソフトウェア仮勘定の増加額は含めておりません。また有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額43,679千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産の設備投資額であります。

2. セグメント利益又は損失は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 | 財務諸表 計上額 (注) 2 |
|------------------------|------------|-----------|---------|---------|------------|--------------|----------------------|
| | カメラ事業 | 時計事業 | 筆記具事業 | 自転車事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 24,022,870 | 8,681,376 | 408,074 | 848,286 | 33,960,608 | — | 33,960,608 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 24,022,870 | 8,681,376 | 408,074 | 848,286 | 33,960,608 | — | 33,960,608 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 2,324,574 | 357,111 | △30,662 | 40,568 | 2,691,591 | △1,078,451 | 1,613,140 |
| セグメント資産 | 4,897,869 | 4,624,802 | 198,696 | 261,885 | 9,983,253 | 2,629,824 | 12,613,078 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 | 71,382 | 43,464 | 10,140 | 2,403 | 127,391 | 34,371 | 161,763 |
| 有形固定資産及び無 形固定資産の増加額 | 156,692 | 218,031 | 66,243 | 744 | 441,712 | 45,253 | 486,965 |

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額△1,078,451千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理統括部門に係る費用であります。
- (2) 当社は組織変更に伴い、本部人件費等の一般管理費の一部を当第3四半期会計期間より実態に応じた報告セグメントに帰属させる方法に変更しております。この変更により、従来の方法に比べて、当事業年度のセグメント利益が、「カメラ事業」で77,032千円、「時計事業」で10,575千円減少し、セグメント損失の調整額が87,607千円増加しております。
- (3) セグメント資産の調整額2,629,824千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
- (4) 減価償却費の調整額34,371千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
- (5) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、建設仮勘定、ソフトウェア仮勘定の増加額は含めておりません。また有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額45,253千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産の設備投資額であります。

2. セグメント利益又は損失は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦における売上高が90%を超えているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦における売上高が90%を超えているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| 項目 | 前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|-------------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 241.31円 | 270.82円 |
| 1株当たり当期純利益 | 50.55円 | 45.19円 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 50.12円 | 44.96円 |

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|---|--|--|
| 1株当たり当期純利益 | | |
| 当期純利益(千円) | 1,193,962 | 1,067,830 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る当期純利益(千円) | 1,193,962 | 1,067,830 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 23,617,451 | 23,627,766 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | | |
| 当期純利益調整額(千円) | — | — |
| 普通株式増加数(株) | 206,318 | 124,334 |
| (うち新株予約権(株)) | 206,318 | 124,334 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要 | — | — |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。